

セキュリティアラート – ポルトープランス市（ハイチ）

こちらは、英文記事「[Security alert - Port of Prince, Haiti](#)」（2021年8月2日付）の和訳です。

7月に発生したジョブネル・モイーズ大統領暗殺を受け、ハイチではますます政情不安が広がっています。カリブ海に浮かぶ人口1,100万人の島国、ハイチでは、首都ポルトープランス市でギャングによる暴力、政治的抗議活動が発生し、治安悪化による影響が港湾の操業にも及んでいます。



治安悪化の影響から、Gardメンバーの船舶がポルトープランスに寄港中、右舷側から銃撃を受けました。乗船していた乗組員22名は全員無事で負傷者も出ていません。代理店によると、銃撃は地元ギャング同士の衝突によるもので、本船が意図的に狙われたわけではないとのこと。

各ターミナルでは、セキュリティ対策を強化し、トラブルの未然防止に取り組んでいます。ポルトープランスのVarreauxターミナルとコンテナターミナル（CPS）では、ISPSセキュリティレベル2が適用されており、ハイチの港に寄港するすべての船舶は、ISPSセキュリティレベル2を適用することが求められています。

メンバーの皆様におかれましては、上記のような現状について、乗組員に十分に周知するようにしてください。

本情報は一般的な情報提供のみを目的としています。発行時において提供する情報の正確性および品質の保証には細心の注意を払っていますが、Gardは本情報に依拠することによって生じるいかなる種類の損失または損害に対して一切の責任を負いません。

本情報は日本のメンバー、クライアントおよびその他の利害関係者に対するサービスの一環として、ガードジャパン株式会社により英文から和文に翻訳されております。翻訳の正確性については十分な注意をしておりますが、翻訳された和文は参考上のものであり、すべての点において原文である英文の完全な翻訳であることを証するものではありません。したがって、ガードジャパン株式会社は、原文と内容の不一致については、一切責任を負いません。翻訳文についてご不明な点などありましたらガードジャパン株式会社までご連絡ください。